

過疎計画（第6次変更）新旧対照整理表
（見え消しver.対応）

| No. | カテゴリー | 修正前 | 修正後 | 頁 (見え消しVer.) | 地区 |
|-----|-----------------------|---|--|-----------------|-----|
| 1 | 基本的な事項 | 特に、梨や生乳、鶏卵については | 特に、生乳、鶏卵については | 4 | 豊北 |
| 2 | 基本的な事項 | 令和2年の水揚量は829トン（下関市水産統計年報）で、 | 令和6年の水揚量は1,553トン（下関市水産統計年報）で、 | 4 | 全地区 |
| 3 | 基本的な事項 | タマネギ、サトイモ、キャベツ等の露地栽培 | タマネギ、サトイモ、キャベツはなっこり一等の露地栽培 | 4 | 豊浦 |
| 4 | 基本的な事項 | 沿岸漁業と養殖による令和2年の水揚量は45トン | 沿岸漁業と養殖による令和6年の水揚量は18トン | 4 | 豊浦 |
| 5 | 基本的な事項 | また、黒井漁協では養殖タイ、アジの観光釣り堀を行っています。 | 削除 | 4 | 豊浦 |
| 6 | 基本的な事項 | 外観は大小さまざまな三角形で構成され、独特の凹凸や傾斜によって周囲の建物や山とのボリューム感の調和を図った建築物です。豊浦地域の観光案内とともに、地域資源を生かした多彩な交流イベントを開催しており、地域間交流を担う施設として多くの方が訪れています。 | さらに令和5年度からは、「豊浦地域〔川棚温泉エリア〕再生計画」の一環として、同じく隈研吾氏の設計のもと、令和6年度に「下関市川棚温泉癒しの庭」、令和7年度に「リフレッシュパーク豊浦野外ステージ」が設置されました。これらの施設の整備により、川棚温泉エリアのデザイン面での一体性が一層高まり、多くの方が訪れています。また、SNSでの配信においても隈研吾氏に関する投稿は反響が大きく、関心の高さをうかがえます。 | 4 | 豊浦 |
| 7 | 基本的な事項 | 道の駅「蛍街道西ノ市」等、地域の全ての集客施設が密接な連携を図り、 | 道の駅「蛍街道西ノ市」等、地域の全ての集客・交流施設が密接な連携を図り、 | 5 | 豊田 |
| 8 | 基本的な事項 | 地域住民の清掃活動等による環境美化への取組が実を結び、近年ではホタルの生息数も増加の傾向にあります。このように、地域・事業者・市民が一体となり、 | 地域住民の清掃活動等による環境美化への取組など、地域・事業者・市民が一体となり、 | 5 | 豊田 |
| 9 | 基本的な事項 | リフレッシュパーク豊浦や川棚温泉交流センターの整備により、交流人口の拡大を推進しているところですが、近年の観光需要の変化により観光客数は年々減少し、それに伴い旅館の数も減少しており、観光地としての賑わいは失われつつあります。こうした状況を打開し、かつての賑わいを取り戻すべく、豊浦地域〔川棚温泉エリア〕再生ビジョンを策定しました。 | 川棚温泉交流センター、リフレッシュパーク豊浦野外ステージ、下関市川棚温泉癒しの庭の整備により、交流人口の拡大を推進しています。さらに近年は、VRによる体験型観光やSNSを活用した情報発信にも注力しており、観光客数は年々増加している一方、宿泊者数は減少傾向にあります。滞在型の観光地としての賑わいを取り戻すべく、公民共創のまちづくりを推進してまいります。 | 6 | 豊浦 |
| 10 | 基本的な事項 | 地域内の参加農家48戸、地域外入植農家18戸の計66戸（令和4年3月末）が入植し | 地域内の参加農家44戸、地域外入植農家20戸の計64戸（令和8年3月現在）が入植し | 7 | 豊北 |
| 11 | 基本的な事項 | 12社の企業誘致（繊維会社、船舶機器製作会社、精密機器製造会社、水産加工会社等）を行い、そのうち10社が現在も稼働しています。 | 12社の企業誘致（繊維会社、船舶機器製作会社、精密機器製造会社、水産加工会社等）を行い、そのうち9社が現在も稼働しています。 | 7 | 豊浦 |
| 12 | 基本的な事項 | 参考（住民基本台帳人口令和4年3月末現在） （豊田町・豊北町・豊浦町） | 参考（住民基本台帳人口令和8年4月末現在） （豊田町・豊北町・豊浦町） | 16 | 全地区 |
| 13 | 基本的な事項 | 過疎地域である豊田・豊北・豊浦地域は第2次下関市総合計画の基本構想において、 | 過疎地域である豊田・豊北・豊浦地域は第3次下関市総合計画の基本構想において、 | 21 | 全地区 |
| 14 | 基本的な事項 | 下関市人口ビジョン（令和元年度版）で示しているとおり、 | 下関市人口ビジョン（令和6年度版）で示しているとおり、 | 21 | 全地区 |
| 15 | 基本的な事項 | 地域の活力が低下しないように、第2期下関市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた目標と同様、 | 地域の活力が低下しないように、第3期下関市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた目標と同様、 | 21 | 全地区 |
| 16 | 基本的な事項 | 人口に関する目標 令和7年度目標指標 | 人口に関する目標 令和7年度実績値・目標値 | 22 | 全地区 |
| 17 | 2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成 | 移住の窓口（住まいる★下関）を設置し、 | 移住の相談窓口（移住定住トータルサポートセンター）を設置し、 | 24 | 全地区 |

過疎計画（第6次変更）新旧対照整理表
（見え消しver.対応）

| No. | カテゴリー | 修正前 | 修正後 | 頁 (見え消しVer.) | 地区 |
|-----|-----------------------|--|---|-----------------|-----|
| 18 | 2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成 | そのような中で、各地域において特色ある資源を活用した多彩な交流イベントや体験活動等を開催し、及びSNS等により地域の魅力を発信し、地域や地域住民との多様な関わりを持つ「関係人口」の創出・拡大を図るとともに、社会情勢の変化や時代のニーズに則した新しい生活スタイルに向けた地域の受入環境整備を行い、併せて若い世代が地域活動に参画し、新たな担い手として地域に携わっていく仕組みづくりが大変重要です。 | そのような中で、各地域において特色ある資源を活用した多彩な交流イベントやお試し暮らしによる体験活動等を開催しています。多様な媒体により地域の魅力を発信して本市との関係性を構築することで、地域と多様な関わりを持つ「関係人口」の創出・拡大を図るとともに、社会情勢の変化や時代のニーズに則した新しい生活スタイルに向けた地域の受入環境整備や未利用財産の活用を行い、併せて若い世代が地域活動に参画し、新たな担い手として地域に携わっていく仕組みづくりが重要です。 | 24 | 全地区 |
| 19 | 2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成 | コロナ禍を契機として、地方移住に対する関心が高まっており、本市においても移住相談件数が年々増加しております。こうした中、移住希望者の多様なニーズに応えるため、相談窓口のサポート体制を充実させていくとともに、 | 地方移住に対する関心が高まっており、本市においても移住相談件数が年々増加しております。こうした中、移住希望者の多様なニーズに応えるため、移住定住トータルサポートセンターのサポート体制を充実させていくとともに、 | 24 | 全地区 |
| 20 | 2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成 | 移住相談窓口において、移住者や地域おこし協力隊員、移住相談者が気軽に立ち寄りコミュニケーションが図れる、サロンの「人だまり」の空間を築き、移住者コミュニティの結節点となる窓口を目指し、地域で成功をおさめる卒業隊員を一人でも多く輩出し、 | 同センターにおいては、関係人口の創出や地域との橋渡しに軸足を移し、DXを活用して移住希望者のニーズに沿った支援を行います。あわせて、地域団体等と連携した体験の機会や、未利用財産を活用したお試し暮らし体験施設の充実を図ります。 また、地域で成功をおさめる卒業隊員を一人でも多く輩出し、 | 24 | 全地区 |
| 21 | 2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成 | また、多様な媒体を活用し、実効性の高いプロモーションを実施し、 | さらに、多様な媒体を活用した実効性の高いプロモーションを実施し、 | 25 | 全地区 |
| 22 | 2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成 | さらに「都市と地方での二地域居住」や「本業と副業」、 | 加えて、「都市と地方での二地域居住」や「本業と副業」、 | 25 | 全地区 |
| 23 | 2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成 | 目標指標 | 目標指標（基準値②、目標値②） | 25 | 全地区 |
| 24 | 3 産業の振興 | 豊田地域においては、農業従事者の高齢化や第2種兼業農家の増加に対応するため、農作業受委託組織有限会社豊田あぐりサービス、営農組合、担い手農家を中心に、基幹農作業の受委託を実施し、現在まで順調に拡大をしています。 | 豊田地域においては、高齢農家や兼業農家が農作業受託組織（有限会社豊田あぐりサービス・営農組合・担い手農家など）と連携し、農業生産の維持や経営の継続を図っています。 | 26 | 豊田 |
| 25 | 3 産業の振興 | 今後とも、高齢化、後継者不足の進行により零細農家の離農や耕作放棄地の増加は、一層高まることが予測されるため、担い手農家の育成を始め、法人化や営農組織の設立を推進するとともに、農地中間管理機構の活用を含め、農地の流動化に努める必要があります。 | 今後とも、高齢化、後継者不足の進行により零細農家の離農や耕作放棄地は増加傾向にあることから、担い手農家の育成を含め、農地中間管理機構を活用した農地の流動化に努める必要があります。 | 26 | 豊田 |
| 26 | 3 産業の振興 | このような状況の中、麦・大豆・そばについては、土地基盤整備済みの大区画を中心に推進しているものの、生産コスト高と価格低迷で収益性が低いのが現状です。果樹は、豊田梨共同出荷組合を母体とした農家が二十世紀・豊水（梨）を中心に栽培しており、市場出荷、観光もぎとり、宅配等直売により経営の安定を目指していますが、近隣の生産地と競合するところもあり、集荷量、入園者とも横ばい状態にあります。 | このような状況の中、麦・大豆については、土地基盤整備済みの農地への作付けを推進しているものの、生産コスト高と価格低迷で収益性が低いのが現状です。果樹は、豊田梨共同出荷組合を母体とした農家が二十世紀・豊水（梨）を中心に栽培しており、市場出荷、観光もぎとり、宅配等直売により経営の安定を目指していますが、高齢化等による閉園に伴い、集荷量、入園者とも減少傾向にあります。 | 26 | 豊田 |

過疎計画（第6次変更）新旧対照整理表
（見え消しver.対応）

| No. | カテゴリー | 修正前 | 修正後 | 頁 (見え消しVer.) | 地区 |
|-----|--------|---|---|-----------------|----|
| 27 | 3産業の振興 | また、畜産では、令和4年2月現在、乳用牛56頭、肉用牛303頭が飼養されています。肥育牛については、頭数が少ないため、産地としての体制が取れていないのが現状であり、今後は、産地化のための体制整備が必要です。乳用牛については、環境問題等への対応に加え、高齢化、後継者不足により農家数、飼養頭数ともに減少してきています。 | また、畜産では、令和8年2月現在、乳用牛67頭、肉用牛233頭が飼養されています。肥育牛については、頭数が少ないため、産地としての体制が取れていないのが現状です。乳用牛については、飼料価格が高騰している中、農家数、飼養頭数ともに横ばい状態にあります。 | 26 | 豊田 |
| 28 | 3産業の振興 | 豊北地域では、中山間地域という地理的条件から、耕作条件を改善するため、国営事業を始め、県営・団体営・山村振興対策・新農業構造改善事業等により整備を進めてきました。整備を実施した水田は1,124haで、農用地水田面積に対する整備率は63.9%となっています。 | 豊北地域では、中山間地域という地理的条件から、耕作条件を改善するため、国営事業を始め、県営・団体営・山村振興対策・新農業構造改善事業等により整備を進めてきました。令和8年3月末時点、対象農地の63.9%で整備が実施されています。 | 27 | 豊北 |
| 29 | 3産業の振興 | 豊浦地域では、都市近郊型農業として水稲を中心に、タマネギ、サトイモ、キャベツ等の露地栽培による野菜生産が行われています。 | 豊浦地域では、都市近郊型農業として水稲を中心に、タマネギ、はなっこり等の露地栽培による野菜生産が行われています。 | 27 | 豊浦 |
| 30 | 3産業の振興 | 豊田地域においては、森林面積は、13,202haで豊田地域総面積の80%を占めており、うち99%の13,030haが民有林です。 | 豊田地域においては、森林面積は、13,042haで豊田地域総面積の80%を占めており、うち99%の12,870haが民有林です。 | 27 | 豊田 |
| 31 | 3産業の振興 | 豊浦地域の森林面積は、4,872ha（うち国有林147ha）と豊浦地域総面積の約64%を占めています。 | 豊浦地域の森林面積は、4,841ha（うち国有林109ha）と豊浦地域総面積の約64%を占めています。 | 28 | 豊浦 |
| 32 | 3産業の振興 | 豊田地域においては、豊田湖、木屋川、粟野川を中心とした内水面漁業です。豊田湖では、冬のワカサギとヘラブナ釣りが主体で、例年県内外から多くの釣客が訪れています。各種淡水魚数の安定を図るため、豊田湖へはワカサギの活卵が、木屋川、粟野川へは、アユの稚魚が放流されています。しかし、近年、両水系ともに外来魚による食害の発生により、今後、淡水魚の生態系が崩れるおそれがあり、深刻な問題となっています。 | 豊田地域においては、豊田湖での、冬のワカサギとヘラブナ釣りが主体で、例年県内外から多くの釣客が訪れています。 | 28 | 豊田 |
| 33 | 3産業の振興 | 豊北地域においては、沿岸漁業を主体とし、組合員数は平成27年の948人から令和2年は815人であり、133人の減となっています。また、60歳以上の組合員数は、令和2年において84.9%を占めるなど、担い手の減少だけでなく高齢化も深刻な課題となっています。 | 豊北地域においては、沿岸漁業を主体とし、組合員数は令和2年の815人から令和6年は738人であり、77人の減となっています。また、60歳以上の組合員数は、令和6年において79.5%を占めるなど、担い手の減少だけでなく高齢化も深刻な課題となっています。 | 28 | 豊北 |
| 34 | 3産業の振興 | 豊浦地域においては、沿岸漁業を主体とし、組合員数は平成27年の496人から令和2年は433人であり、63人の減となっています。また、60歳以上の組合員数は令和2年において85.9%を占めるなど、担い手の減少だけでなく高齢化も深刻な課題となっています。 | 豊浦地域においては、沿岸漁業を主体とし、組合員数は令和2年の433人から令和6年は403人であり、30人の減となっています。また、60歳以上の組合員数は令和6年において83.0%を占めるなど、担い手の減少だけでなく高齢化も深刻な課題となっています。 | 28 | 豊浦 |
| 35 | 3産業の振興 | 工業は自動車部品、自転車部品、水産加工業を中心とする中小企業が多いものの、国内外に多くの取引がある船舶用機器を製造する事業所や、水処理装置に適用されるイオン交換樹脂やUF膜といった機能材の精製などを行う事業所もあり、 | 工業は水産加工業を中心とする中小企業が多いものの、国内外に多くの取引がある船舶用機器を製造する事業所や、水処理装置に適用されるイオン交換樹脂やUF膜といった機能材の精製などを行う事業所、介護用食品や栄養補助食品などを製造する事業所もあり、 | 29 | 豊浦 |
| 36 | 3産業の振興 | 温泉施設については、道の駅を含め3箇所あり、最も規模の大きい一の保温泉は、2軒の旅館・ホテルが営業し、多くの観光客や湯治客が利用しています。 | 温泉は、とろろ泉質の美肌の湯として知られる西の市温泉（道の駅）と一の保温泉があり、多くの観光客や湯治客が利用しています。 | 30 | 豊田 |

過疎計画（第6次変更）新旧対照整理表
（見え消しver.対応）

| No. | カテゴリー | 修正前 | 修正後 | 頁 (見え消しVer.) | 地区 |
|-----|------------------|--|--|-----------------|-----|
| 37 | 3産業の振興 | 平成16年12月にオープンした道の駅「蛸街道西ノ市」は、近年の年間利用者数が50万人台と減少傾向にあります。豊田地域の農林産品を販売する野菜市施設や物販施設を始め、 | 平成16年12月にオープンした道の駅「蛸街道西ノ市」は、豊田地域の農林産品を販売する野菜市施設や物販施設を始め、 | 31 | 豊田 |
| 38 | 3産業の振興 | 土井ヶ浜遺跡については、弥生時代前期の顕著な遺跡として広く紹介するため、平成5年度に、土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムを整備したほか、 | 土井ヶ浜遺跡については、弥生時代前期から中期の顕著な遺跡として広く紹介するため、平成5年度に、土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムを整備したほか、 | 31 | 豊北 |
| 39 | 3産業の振興 | また、隈研吾氏の設計による観光交流施設「川棚温泉交流センター」が平成22年に設置され、豊浦地域の観光案内とともに、地域資源を生かした多彩な交流イベントを開催しており、地域間交流を担う施設として多くの方が訪れています。 | また、豊浦地域には隈研吾氏が設計した施設が多く存在し、平成22年に設置された「川棚温泉交流センター」に続き、「下関市川棚温泉癒やしの庭」を令和6年度に、「リフレッシュパーク豊浦野外ステージ」を令和7年度に新たに設置し、温泉や自然などの地域資源を活かした観光交流施設として注目を集めています。 | 32 | 豊浦 |
| 40 | 3産業の振興 | さらに、豊浦地域と川棚温泉エリアにかつての賑わいを取り戻すため、豊浦地域「川棚温泉エリア」再生計画プロジェクト会議で検討を重ね、令和4年3月には豊浦地域「川棚温泉エリア」再生ビジョンを策定しました。これを踏まえて、豊浦地域「川棚温泉エリア」再生事業として、川棚温泉を中心にさまざまな事業を展開して、その波及効果を豊浦地域全体にもたらすことで地域を活性化させ、まちの賑わいを創出していくこととしております。 | さらに、豊浦地域と川棚温泉エリアにかつての賑わいを取り戻すため、「豊浦地域「川棚温泉エリア」再生計画プロジェクト会議」で検討を重ね、令和4年3月に「豊浦地域「川棚温泉エリア」再生ビジョン」を策定しました。これを踏まえて、令和5年度からの3年間で「豊浦地域「川棚温泉エリア」再生事業」を実施し、各施設の整備に加え、イベントへの補助、温泉パンフレットの作成、VR・SNSの効果的活用による観光資源のPRなど、多角的に地域活性化に取り組んでまいりました。 これらの実績を活かし、令和8年度からは公民共創のまちづくりを推進するとともに、さらなる地域資源の発掘と利活用を通じて、まちの賑わいを創出していくこととしております。 | 32 | 豊浦 |
| 41 | 3産業の振興 | 目標指標 | 目標指標（基準値②、目標値②） | 34 | 全地区 |
| 42 | 4地域における情報化 | 豊田地域では、防災・防犯情報、行政や身近な生活情報等をスマートフォン等の情報端末へ発信できるアプリケーション「結ネット」を導入し、令和3年に運用を開始しました。今後啓発に努め、利用者の増加と内容の充実を図る必要があります。 | 削除 | 42 | 豊田 |
| 43 | 4地域における情報化 | 目標指標 | 目標指標（基準値②、目標値②） | 42 | 全地区 |
| 44 | 5交通施設の整備、交通手段の確保 | 市道については、令和4年4月1日現在、路線数が多く実延長も長いことから、改良率も51.3%と低くなっており、舗装率は92.9%となっています。 | 市道については、令和7年4月1日現在、路線数が多く実延長も長いことから、改良率も51.4%と低くなっており、舗装率は93.0%となっています。 | 45 | 豊北 |
| 45 | 5交通施設の整備、交通手段の確保 | 豊浦地域では、主要な幹線道路として、～～市道が枝葉状に広がり、523路線、総延長187.6kmにより道路網を構成しています。 | 豊浦地域では、主要な幹線道路として、～～市道が枝葉状に広がり、528路線、総延長188.9kmにより道路網を構成しています。 | 45 | 豊浦 |
| 46 | 5交通施設の整備、交通手段の確保 | 豊田地域においては、令和4年4月1日現在、2社の民間バス事業者が路線バスの運行を行っており、1社が市内他地域及び市外を結ぶ9路線を運行し、もう1社が廃止路線代替として地域内2路線と市内他地域及び市外を結ぶ10路線を運行しています。また、市が生活バスにより地域内4路線のデマンド型区域運行を行っています。 | 豊田地域においては、令和8年4月1日現在、2社の民間バス事業者が路線バスの運行を行っており、1社が市内他地域及び市外を結ぶ5路線を運行し、もう1社が廃止路線代替として地域内1路線と市内他地域及び市外を結ぶ10路線を運行しています。また、市が生活バスによりデマンド型区域運行を行っています。 | 45 | 豊田 |

過疎計画（第6次変更）新旧対照整理表
（見え消しver.対応）

| No. | カテゴリー | 修正前 | 修正後 | 頁 (見え消しVer.) | 地区 |
|-----|-------------------------------|--|---|-----------------|-----|
| 47 | 5 交通施設の整備、交通手段の確保 | バス交通について、民間バス事業者が廃止路線代替として鉄道及び主要な集落を結ぶ地域内8路線と市内他地域を結ぶ10路線を運行しており、市が生活バスにより地域内2路線の路線定期運行を行っています。 | バス交通について、民間バス事業者が廃止路線代替として鉄道及び主要な集落を結ぶ地域内13路線と市内他地域を結ぶ9路線を運行しており、市が生活バスにより地域内2路線の路線定期運行を行っています。 | 46 | 豊北 |
| 48 | 5 交通施設の整備、交通手段の確保 | バス交通については、2社の民間バス事業者が路線バスの運行を行っており、1社が市内他地域を結ぶ1路線を運行し、もう1社が廃止路線代替として地域内3路線と市内他地域を結ぶ1路線を運行しています。また、市が生活バスにより、他地域と結ぶ2路線の運行を行っています。 | バス交通については、2社の民間バス事業者が路線バスの運行を行っており、1社が市内他地域を結ぶ2路線を運行し、もう1社が廃止路線代替として地域内6路線と市内他地域を結ぶ5路線を運行しています。また、市が運行する生活バスが他地域から乗り入れています。 | 46 | 豊浦 |
| 49 | 5 交通施設の整備、交通手段の確保 | 目標指標 | 目標指標（基準値②、目標値②） | 47 | 全地区 |
| 50 | 6 生活環境の整備 | 目標指標 | 目標指標（基準値②、目標値②） | 52 | 全地区 |
| 51 | 7 子育て環境の確保、高齢者等の保険及び福祉の向上及び増進 | 人口の減少、少子化、女性の社会進出が急激に進む中、次代を担う子どもたちが健全に生まれ育つ環境づくりがますます重要となっています。 | 人口の減少、少子化が急激に進む中、次代を担う子どもたちが健全に生まれ育つ環境づくりがますます重要となっています。 | 57 | 全地区 |
| 52 | 7 子育て環境の確保、高齢者等の保険及び福祉の向上及び増進 | 就学前の子どもに関する教育・保育施設については～～、豊田地域では2箇所、豊北地域では1箇所、豊浦地域では2箇所となっています。また、社会福祉法人の認定こども園（幼保連携型認定こども園）が豊北地域で1箇所、公私立の保育所が豊浦地域で各1箇所となっています。 | 就学前の子どもに関する教育・保育施設については～～、豊田地域では2箇所、豊浦地域では2箇所となっています。また、社会福祉法人の認定こども園（公私連携幼保連携型認定こども園）が豊北地域で1箇所、公私立の保育所が豊浦地域で各1箇所となっています。 | 57 | 豊北 |
| 53 | 7 子育て環境の確保、高齢者等の保険及び福祉の向上及び増進 | 目標指標 | 目標指標（基準値②、目標値②） | 58 | 全地区 |
| 54 | 8 医療の確保 | 下関市立豊田中央病院は、病床数71床（一般病床60床（うち地域包括ケア病床15床）、療養病床11床（休棟中））を有し、 | 下関市立豊田中央病院は、病床数71床（一般病床60床（うち地域包括ケア病床22床）、療養病床11床（休棟中））を有し、 | 61 | 豊田 |
| 55 | 8 医療の確保 | 豊北地域では、医療施設は、下関市立角島診療所及び下関市島戸診療所のほか民間病院1施設、民間診療所4施設があり、歯科については民間診療所4施設があります。 | 豊北地域では、医療施設は、下関市立角島診療所及び下関市島戸診療所のほか、民間診療所4施設があり、歯科については民間診療所2施設があります。 | 61 | 豊北 |
| 56 | 8 医療の確保 | 目標指標 | 目標指標（基準値②、目標値②） | 62 | 全地区 |
| 57 | 9 教育の振興 | 豊田地域では、小学校児童数は平成27年度の250人が令和4年度には146人と104人減少し、小学校の統合により令和4年4月1日現在、2校となり内1校は複式学級となっています。中学校は、平成24年4月に統合して1校となりました。生徒数は、平成27年度の137人が令和4年度には90人と47人減少しています。 | 豊田地域の小学校は2校で、児童数は平成27年度の250人から令和7年度現在で105人に減少しています。中学校は1校で、生徒数は平成27年度の137人から令和7年度現在で59人に減少しています。 | 64 | 豊田 |
| 58 | 9 教育の振興 | また、給食調理場については、地域内の小中学校3校に地場産の食材を取り入れた～ | また、学校給食共同調理場については、地域内の小中学校3校に地場産の食材を取り入れた～ | 64 | 豊田 |
| 59 | 9 教育の振興 | 豊北地域では、小学校児童数は平成16年度の501人から令和4年度の175人と半数以下に減少し、～～、令和4年度の学校規模としては、7クラス（うち2クラス特別支援学級）113人で、生徒数の減少が続いています。 | 豊北地域では、小学校児童数は平成16年度の501人から令和4年度の175人と半数以下に減少し、～～、令和8年度の学校規模としては、5クラス（うち2クラス特別支援学級）79人で、生徒数の減少が続いています。 | 64 | 豊北 |

過疎計画（第6次変更）新旧対照整理表
（見え消しver.対応）

| No. | カテゴリー | 修正前 | 修正後 | 頁 (見え消しVer.) | 地区 |
|-----|---------|---|---|-----------------|-----|
| 60 | 9教育の振興 | 豊浦地域の小学校は5校で、児童数は平成27年度の754人から令和4年度現在で604人に減少しています。中学校は2校で、生徒数は平成27年度の394人から令和4年度現在で369人に減少しています。 | 豊浦地域の小学校は5校で、児童数は平成27年度の754人から令和7年度現在で521人に減少しています。中学校は2校で、生徒数は平成27年度の394人から令和7年度現在で308人に減少しています。 | 64 | 豊浦 |
| 61 | 9教育の振興 | 令和2年11月に策定された「第3期下関市立学校適正規模・適正配置基本計画」に沿って、よりよい教育環境の実現に努めていく必要があります。 | 令和7年8月に策定された「第4期下関市立学校適正規模・適正配置基本計画」に沿って、 | 64 | 全地区 |
| 62 | 9教育の振興 | 本地域では、「一人一スポーツ」を実現するため、これまで、武道館、テニスコート等の整備を進めるとともに、 | 本地域では、武道館、テニスコート等の整備を進めるとともに、 | 65 | 豊田 |
| 63 | 9教育の振興 | 豊田地域の豊田下地区では、～～しました。1号認定子どもの利用定員10人に対し在園児8人、2号・3号認定子どもの利用定員60人に対し在園児40人（令和4年3月現在）で運営を行っています。 | 豊田地域の豊田下地区では、～～しました。1号認定子どもの利用定員10人に対し在園児1人、2号・3号認定子どもの利用定員60人に対し在園児30人（令和8年3月現在）で運営を行っています。 | 66 | 豊田 |
| 64 | 9教育の振興 | 当園は、1号認定子どもの利用定員10人に対し在園児11人、2号・3号認定子どもの利用定員60人に対し在園児42人（令和4年3月現在）で運営を行っており、 | 当園は、1号認定子どもの利用定員10人に対し在園児2人、2号・3号認定子どもの利用定員60人に対し在園児32人（令和8年3月現在）で運営を行っており、 | 66 | 豊田 |
| 65 | 9教育の振興 | 豊北地域では、～～幼保連携型認定こども園に移行しました。当園は、1号認定子どもの利用定員15人に対し在園児5人、2号・3号認定子どもの利用定員45人に対し在園児46人（令和4年3月現在）で運営を行っており、子育て支援センターを併設し、孤立しがちな在宅保育を支援するとともに、家庭との連携を図っています。 | 豊北地域では、～～幼保連携型認定こども園に移行しました。その後、豊北地域の就学前施設一園化の協議が進み、令和8年4月に私立の認定こども園と統合し、公私連携による認定こども園「豊北きらきらこども園（社会福祉法人が運営）」が開設されました。当園は、1号認定子どもの利用定員10人に対し在園児9人、2号・3号認定子どもの利用定員60人に対し在園児58人（令和8年4月現在）で運営を行っており、子育て支援センターを併設し、孤立しがちな在宅保育を支援するとともに、家庭との連携を図っています。 | 66 | 豊北 |
| 66 | 9教育の振興 | 豊浦地域の川棚地区では、～～当園は、1号認定子どもの利用定員60人に対し在園児25人、2号・3号認定子どもの利用定員145人に対し在園児144人（令和4年3月現在）で運営を行っており、～～当園は、1号認定子どもの利用定員20人に対し在園児19人、2号・3号認定子どもの利用定員90人に対し在園児79人（令和4年3月現在）で運営を行っています。 | 豊浦地域の川棚地区では、～～当園は、1号認定子どもの利用定員60人に対し在園児7人、2号・3号認定子どもの利用定員145人に対し在園児134人（令和8年3月現在）で運営を行っており、～～当園は、1号認定子どもの利用定員20人に対し在園児6人、2号・3号認定子どもの利用定員90人に対し在園児80人（令和8年3月現在）で運営を行っています。 | 67 | 豊浦 |
| 67 | 9教育の振興 | 目標指標 | 目標指標（基準値②、目標値②） | 68 | 全地区 |
| 68 | 10集落の整備 | 豊田地域の自治会は、5地区に区分され、35自治会で構成されています。 自治会の規模としては、大きいものでは320世帯、小さいものでは9世帯と格差があり、多くの自治会は20世帯から80世帯までで構成されています。 | 豊田地域の自治会は、5地区に区分され、34自治会で構成されています。 自治会の規模としては、大きいものでは290世帯、小さいものでは15世帯と格差があり、多くの自治会は20世帯から80世帯までで構成されています。 | 73 | 豊田 |
| 69 | 10集落の整備 | 豊北地域の自治会は、7地区に区分され、99自治会で構成されています。 自治会の規模としては、大きいものでは191世帯、小さいものでは8世帯と格差があり、多くの自治会は20世帯から60世帯までで構成されています。 | 豊北地域の自治会は、7地区に区分され、99自治会で構成されています。 自治会の規模としては、大きいものでは170世帯、小さいものでは7世帯と格差があり、多くの自治会は20世帯から60世帯までで構成されています。 | 73 | 豊北 |

過疎計画（第6次変更）新旧対照整理表
（見え消しver.対応）

| No. | カテゴリー | 修正前 | 修正後 | 頁 (見え消しVer.) | 地区 |
|-----|------------|--|---|-----------------|-----|
| 70 | 10集落の整備 | 豊浦地域の自治会は、5地区に区分され、90自治会で構成されています。 自治会の規模としては、大きいものでは275世帯、小さいものでは3世帯と格差があり、多くの自治会は20世帯から60世帯までで構成されています。 | 豊浦地域の自治会は、5地区に区分され、90自治会で構成されています。 自治会の規模としては、大きいものでは280世帯、小さいものでは2世帯と格差があり、多くの自治会は20世帯から60世帯までで構成されています。 | 73 | 豊浦 |
| 71 | 11地域文化の振興等 | 民俗学部門でも豊北歴史民俗資料館保管の民俗資料(民具)のデジタルデータベースを作成してきました。また、地域内に残る民俗芸能、民俗行事(祭り・儀礼)、民俗技術の映像記録事業を行い、豊北歴史民俗資料館(旧滝部小学校本館・県指定文化財)の保存修理を行い、地域に残る文化財を活用した市民参画による資料館づくりを実践してきました。 | 民俗学部門でも豊北歴史民俗資料館保管の民俗資料(民具)のデジタルデータベースを作成してきました。また、地域内に残る民俗芸能、民俗行事(祭り・儀礼)、民俗技術の映像記録事業を行いました。失われつつある民俗資料を後世に残すため、地域の民具資料の収集と保管、民俗芸能や民俗行事(祭り・儀礼)、民俗技術の調査研究を継続しています。 | 75 | 豊北 |
| 72 | 11地域文化の振興等 | | 追加) 各地域に立地する歴史資産や文化施設等を活用し、多様な交流・賑わい創出を目指します。 | 76 | 豊北 |
| 73 | 11地域文化の振興等 | 目標指標 | 目標指標（基準値②、目標値②） | 77 | 全地区 |